

(資料1)

200X年X月X日

特定非営利活動法人  
国際協力NGOセンター  
アカウンタビリティ・セルフチェック 2008 担当者  
送信先：[ac-challenge@janic.org](mailto:ac-challenge@janic.org)

団体名

代表者 ×××

**アカウンタビリティ・セルフチェック 2008 申し込み書**

**申し込みフォーマット**

団体名	
出席者1氏名 役職	
出席者2氏名 役職	
出席者3氏名 役職	
セルフチェック実施のご希望日時1	
セルフチェック実施のご希望日時2	
セルフチェック実施のご希望日時3	
備考(ご連絡等)	

(資料2)

200X年X月X日

法人格YYYY

団体名

代表者 xxx 殿

特定非営利活動法人  
国際協力NGOセンター  
理事長 大橋正明

### アカウントビリティ・セルフチェック 2008 実施日通知書

アカウントビリティ・セルフチェック 2008 にお申し込み頂き、ありがとうございました。以下の通り、貴団体でのセルフチェックを実施いたしますのでご準備ください。

日時：	
会場：	
立会人1氏名：	
立会人2氏名：	
貴団体からの出席者1氏名： 役職：	
貴団体からの出席者2氏名： 役職：	
貴団体からの出席者3氏名： 役職：	

以上

(資料3)

200X年X月X日

特定非営利活動法人  
国際協力NGOセンター  
理事長 大橋正明 殿

法人格YYY  
団体名  
代表者 xxx

### アカウンタビリティ・セルフチェック 2008 実施完了報告書

月 日に実施しましたアカウンタビリティ・セルフチェック 2008 を以下の通り、  
実施完了したことをご報告いたします。

立会人名： \_\_\_\_\_

立会人名： \_\_\_\_\_

### チャレンジ結果

指針項目	チャレンジ項目数		パスした項目数	
	必須項目	強化項目	必須項目	強化項目
組織運営基準				
事業実施基準				
会計基準				
情報公開基準				
合計				

### チャレンジしなかった項目

1. xxxの 番については、 団体は有給職員がいないため、チャレンジしなかつた。
2. xxxの 番については、 団体は収益事業を行っていないため、チャレンジしなかつた。

以上

(資料4)

200X年X月X日

特定非営利活動法人  
国際協力NGOセンター  
理事長 大橋正明 殿

## アカウントビリティ・セルフチェック 2008 立会人報告書

立会人名：\_\_\_\_\_

立会人名：\_\_\_\_\_

1. 月 日に実施した×××団体のアカウントビリティ・セルフチェック立会いが、下記チェック項目を満たして完了したことをご報告いたします。

参加要件を満たす3名以上の参加者が臨席の上、チャレンジ団体がセルフチェックを行うことを確認できました。  
セルフチェックの現場にて、必要資料の確認が出来ました。  
その他、全ての不正事項がなく、定められたセルフチェックが行われたことが確認できました。

2. 完了と認められない理由は以下の通りです。

3. その他、立会人報告を「保留」とする理由は以下の通りです。

以上

(資料5)

200X年X月X日

特定非営利活動法人  
国際協力NGOセンター  
理事長 大橋正明 殿

法人格YYYY

団体名

代表者 xxx

**アカウントビリティ・セルフチェック 2008 チャレンジ団体 異議申立書**

下記の通り、 月 日に実施しましたアカウントビリティ・セルフチェック 2008の結果に異議申立を行います。

<b>団体名：</b>
<b>責任者名：</b> <b>責任者役職：</b>
<b>異議申立項目：</b>
<b>異議申立理由：</b>

(資料6)

200X年X月X日

法人格YYYY

団体名

代表者 xxx 殿

特定非営利活動法人  
国際協力NGOセンター  
理事長 大橋正明

## アカウントビリティ・セルフチェック 2008 確認書

アカウントビリティ・セルフチェック 2008 にチャレンジしてくださり、ありがとうございました。

月 日に実施しましたアカウントビリティ・セルフチェック 2008 の実施完了報告書を受領いたしましたので、以下の事柄につきご確認させていただきます。

### 1. アカウントビリティ・セルフチェック 2008 マークの使用について

本マークは、貴団体のセルフチェックの透明性と適正を客観的に保証するものです。同時に、貴団体のアカウントビリティへの取り組みや努力を示すものとしてもご提示ください。

なお、使用にあたっては使用規定書に基づいて、ご利用ください。詳しくは別紙をご参照ください。

### 2. 結果の公表について

実施完了報告書に基づき、貴団体がセルフチェックを行った項目数と をつけた項目数とを、JANICウェブサイトで公表いたします。

### 3. アカウントビリティ・セルフチェック 2008 の改訂について

JANICは、時代の要求に速やかに対応し同時にNGOのニーズを満たしていくため、2008年度に完成したアカウントビリティ・セルフチェック 2008 を、3年後の2011年には内容を見直し、チャレンジ団体や他のセクターからのご意見を反映させた改訂版を作成する予定です。アカウントビリティ・セルフチェック 2008 のセルフチェックの結果については、改訂版発行後も有効ですが、アカウントビリティ・セルフチェック 2011(仮称)にも、是非、積極的にチャレンジしていただくことをお待ちしております。

以上